



Custom  
© YAMAHA  
JAPAN

**ファゴット**  
取扱説明書

日本語

**Bassoon**  
Owner's Manual

English

**Fagott**  
Benutzerhandbuch

Deutsch

**Basson**  
Mode d'emploi

Français

**Fagot**  
Manual de instrucciones

Español

**Fagote**  
Manual do Proprietário

Português

**大管**  
使用说明书

简体中文

**Фагот**  
Руководство пользователя

Русский

**바순**  
사용설명서

한국어

**低音管**  
使用說明書

繁體中文

JA EN DE FR ES PT ZH-CN RU KO ZH-TW

このたびは、ヤマハ管楽器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。楽器を正しく組み立て性能をフルに発揮させるため、また永く良い状態で楽器をお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

**P.3**

You are now the owner of a high quality musical instrument. Thank you for choosing Yamaha. For instructions on the proper assembly of the instrument, and how to keep the instrument in optimum condition for as long as possible, we urge you to read this Owner's Manual thoroughly.

**P.3**

Sie sind nun der stolze Besitzer eines hochwertigen Musikinstruments. Vielen Dank, dass Sie sich für ein Instrument der Marke Yamaha entschieden haben. Um mit den Handgriffen zum Zusammenetzen und Zerlegen des Instruments vertraut zu werden und dieses über Jahre hinweg in optimalem Zustand halten zu können, raten wir Ihnen, diese Anleitung aufmerksam durchzulesen.

**P.3**

Vous êtes dès à présent le propriétaire d'un instrument de musique de haute qualité. Nous vous remercions d'avoir choisi Yamaha. En ce qui concerne les instructions relatives à un assemblage adéquat de l'instrument et sur la façon de garder l'instrument dans des conditions optimales aussi longtemps que possible, nous vous conseillons vivement de lire entièrement le présent Mode d'emploi.

**P.3**

Usted es ahora propietario de un instrumento musical de alta calidad. Le agradecemos su elección de un instrumento Yamaha. Le aconsejamos que lea todo este manual de instrucciones para ver las instrucciones para el montaje correcto del instrumento y para aprender a conservar el instrumento en óptimas condiciones durante tanto tiempo como sea posible.

**P.3**

Agora você é o proprietário de um instrumento musical de alta qualidade. Obrigado pela sua escolha de um instrumento Yamaha. Para instruções da montagem correta do instrumento, e de como conservar o instrumento em condições ideais pelo maior tempo possível, pedimos que você leia este Manual do Proprietário por completo.

**P.3**

现在您已经是高品质乐器的主人了！感谢您选择 Yamaha 乐器。有关如何正确地安装乐器以及使乐器尽可能长久地处于最佳状况的说明，请完整地阅读该使用说明书。

**P.3**

Вы стали обладателем высококачественного музыкального инструмента. Благодарим вас за выбор продукции Yamaha. Для получения инструкций по правильной сборке данного инструмента и его длительном хранении в оптимальных условиях мы настоятельно рекомендуем вам внимательно прочитать настоящее руководство.

**P.3**

야마하 악기를 구입해 주셔서 감사합니다. 악기의 알맞은 조립 방법 및 보관을 위해 본 사용설명서를 반드시 읽어주시기 바랍니다.

**P.3**

感謝您選擇 Yamaha 購買優質樂器。如需瞭解如何正確組裝樂器，以及如何讓樂器盡可能長時間保持最佳狀態，強烈建議您詳閱本使用說明書。

**P.3**

# ファゴット

## 取扱説明書

### 安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

#### ■ 記号表示について

⚠：「ご注意ください」という注意喚起を示します。

⊘：「～しないでください」という禁止行為を示します。

**⚠ 注意** この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定されます。

⊘ **楽器を人に向かって投げたり、振り回したりしないでください。**

部品が抜け、相手の身体に当たるなどで危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。

⚠ **オイルやポリッシュ類を乳幼児が口にしないよう、十分ご注意ください。**

乳幼児の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは乳幼児のいない所で行うなど、オイルやポリッシュ類の管理にはご注意ください。

⊘ **小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。**

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

⚠ **楽器のお手入れの際など、針パネに直接触れないようご注意ください。**

高級モデルの針パネは、優れたキータッチを得るために先端部が尖っています。

#### ご注意

• **温度・湿度などの環境に注意してください。**

楽器をストーブなどの火気に近づけないでください。また、温度・湿度の異常な環境でのご使用や保管も避けてください。キイの連絡バランスやタンポの合い具合が悪くなり、演奏に支障をきたすおそれがあります。

• **変形にご注意ください。**

不安定な場所に置いた場合、落下や転倒により変形するおそれがあります。置き場所には十分注意してください。

• **改造しないでください。**

保証の対象外となるばかりでなく、修理ができなくなるおそれがあります。

#### 音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感覚を与えますが、練習中の音は時には気になる人もいらっしゃいます。ご近所の迷惑にならないように気を配りましょう。

# 木製管体に関するご注意

ファゴットの管体は、楓材（メイプル）で作られています。そのため、急激な温度や湿度の変化により管体に変形したり、ジョイント部分がつなぎにくくなったりする場合があります。使用する場所や取り扱いには充分ご注意ください。

- 冬は楽器全体が室温に慣れるまで待ち、それから演奏をはじめましょう。
- 使い始めはあまり長時間演奏しないでください。最初の2週間ほどは、1日20～30分くらいにしましょう（やむなく長時間演奏する場合は、こまめに水分を拭き取りましょう）。
- 演奏後はもちろん、演奏の合間にも、できるだけクリーニングスワブで充分に水分や汚れを拭き取りましょう。

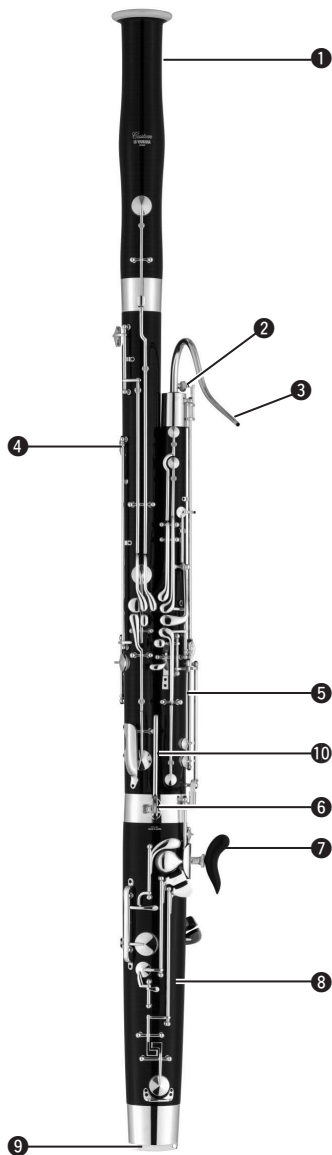
ファゴットはとてもデリケートな楽器です。次のような使い方は、管体を傷める原因になりますので避けてください。

- 直射日光の下での長時間演奏や保管
- 雨の中や湿気の多い場所での演奏や保管
- ストーブやファンヒーターなど、熱源の近くでの演奏や保管
- クーラーなどの冷風が直接当たる場所での演奏や保管

楽器のベストコンディションを長期間維持するために、以下の項目をお守りください。

- 演奏が終わった後は、クリーニングスワブで充分に水分や汚れを拭き取りましょう。
- 一時的に楽器を置くときは、スタンド等を使って立て掛けましょう。やむなく寝かせる場合は、クリーニングスワブを通して水分や汚れを拭き取ってから、安定した場所に寝かせて置いてください。
- 演奏が終わったら必ずケースに入れて保管してください。保管する場所は、高温多湿の場所は避けてください。

# 各部の名称



- ① ベルジョイント
- ② ウイスパーキイ
- ③ ボーカル(クルーク)
- ④ バスジョイント
- ⑤ テナー(ウイング)ジョイント
- ⑥ ストラップリング
- ⑦ ハンドレスト(支え台)
- ⑧ ダブル(ブーツ)ジョイント
- ⑨ プロテクターキャップ(保護キャップ)
- ⑩ バランサー

※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 組み立て方

## 楽器の組み立ての前に（必ずお守りください）

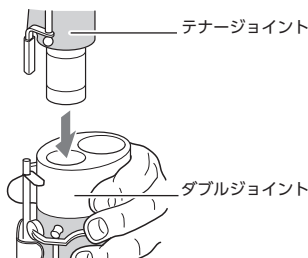
ファゴットは天然の木材と精密な金属パーツからできています。楽器を持つときや組み立ての際は、キイに力が掛からないようご注意ください。

また、楽器を組み立てる際、ボーカルのコルク部分が固いときは、コルクグリスをボーカル側のコルクに薄く塗ってから差し込みます。そのとき、多く塗りすぎないように注意します。それでも固いときは、受け側にもコルクグリスを塗ります。

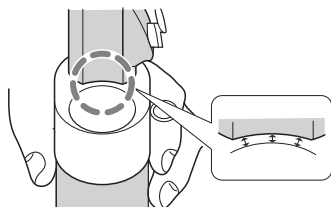
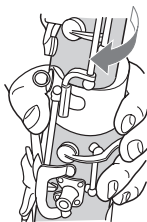
## ■ 楽器の組み立て手順

### テナージョイントと ダブルジョイントの組み立て

1. ダブルジョイントにテナージョイントを組み込みます。



2. テナージョイントを右回りに回して組み立てます。そのとき、テナージョイント内側のカーブが、バスジョイント連結部の円周と等間隔になるようにします。

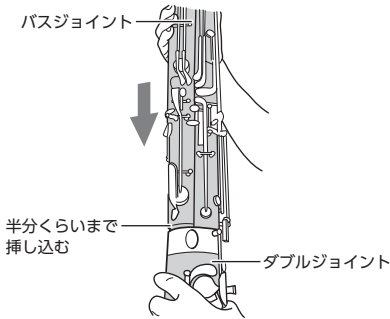


- \* テナージョイントを回しすぎた場合は、連結キイが破損しないようにもう一度抜き取り、最初からやり直してください。無理に反対側に回すと、接触してキイが曲がる場合があります。

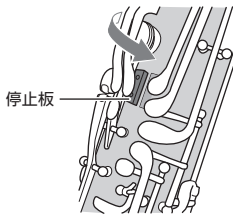
### バスジョイントと ダブルジョイントの組み立て

バスジョイントは、C# キイと E $\flat$  キイがテナージョイントの管体表面に当たらないように組み込みます。

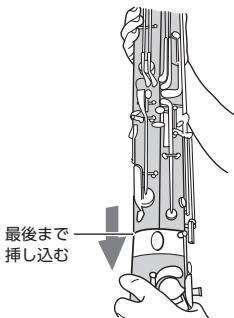
1. ダブルジョイントにバスジョイントを半分くらいまで押し込みます。



- 2.** バスジョイントを回転させて、バスジョイントの停止板をテナージョイントに当てます。



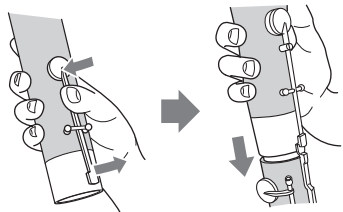
- 3.** そのままバスジョイントを最後まで挿し込みます。



## ベルの組み込み

### ● 通常タイプ

ベルのキイを軽く押さえて、バスジョイントに挿し込みます。

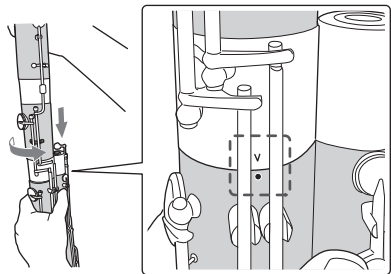


\* キイを強く押しすぎないでください。

### ● ジェントルマンタイプ

2つの連結キイがぶつからないように、ベルを回しながらバスジョイントに挿し込みます。

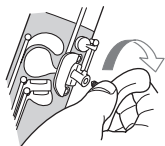
ベルの印「V」とバスジョイントの印「●」を合わせると正しい位置になります。



# 組み立て方

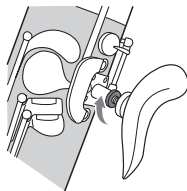
## ハンドレストの取り付け

1. ハンドレストのネジ部をホルダーに、好みの位置まで回し込みます。



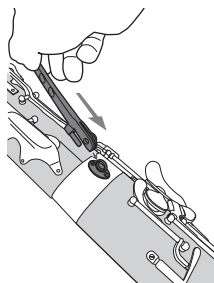
\* ハンドレストを締めすぎないようにご注意ください。

2. ネジ部のリングを締めて固定します。

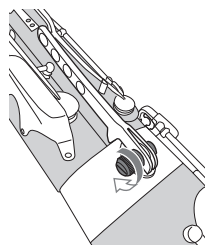


## バランサーの取り付け

1. ストラップリングの上側にある穴に、バランサーのピンを挿し込みます。このときバランサー下側の隙間に、ストラップリングが入るようにします。

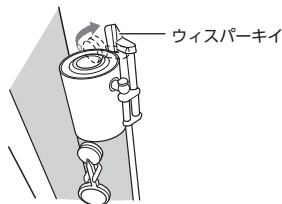


2. 固定用のネジでバランサーと楽器本体をしっかりと固定します。

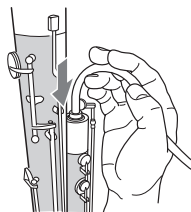


## ボーカルの取り付け

1. テナージョイントのウイスパーキが開いているかを確認します。



2. ボーカルのコルク部にコルクグリスを塗り、ボーカルを取り付けます。





## ■ ジョイント部の調整

- 管体のジョイント部には、木綿糸が巻かれています。ジョイントが入らないときやきつときは、お買い上げ店またはご相談センターまでお問い合わせください。
- ボーカルのジョイント部にはコルクが付いています。組み込む前にはコルクグリスを塗ってください。

## ■ チューニングの方法

- ヤマハファゴットには、長さの異なる2本のボーカルが付属しています。演奏するピッチに合わせてご使用ください。なお、ボーカルを抜いてチューニングをする場合は、タンポに十分注意してください。タンポとトーンホールが合っていないと、息漏れを起こす原因になります。

## ■ 楽器の分解方法

楽器を分解するときは、下記の手順で行ってください。

次ページの「楽器のお手入れ」を参照し、合わせて手入れを行ってください。

1. ボーカルを外します。
2. ベルとバスジョイントを一体のまま取り外し、ベルをバスジョイントから外します（ベル、バスジョイントの順に取り外してもかまいません）。その際、キイを強く押さえないよう注意してください。  
ジェントルマンタイプのベルとバスジョイントの分解は、組み立ての手順の逆で行ってください。
3. テナージョイントを外します。
4. ダブルジョイントの水分を、細いほうの管から出します。
5. ハンドレストとバランスを外します。
6. 各部の掃除をします。

### 取り扱い上の注意

楽器を使用している間は、ダブルジョイントの太いほうの管に水が付かないように、気を付けてください。

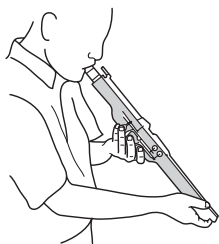
## 演奏後のお手入れ

演奏後は、必ず以下の手順で楽器内部に付いた水分や汚れを拭き取りましょう。

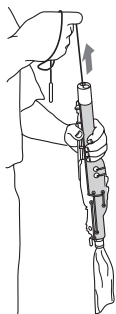
### ■ 楽器内面のお手入れ

#### テナージョイントのお手入れ

1. テナージョイント上部から息を吸い込み、トーンホールにつまっている水分を、管体の内側に吸い出します。

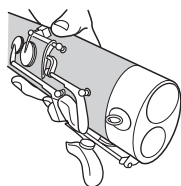


2. 管体内面にクリーニングスワブ(テナージョイント用)を通して、水分を拭き取ります。



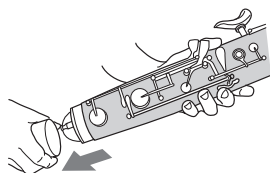
#### ダブルジョイントのお手入れ

1. U字管にたまった水分を、細い方の管から出します。

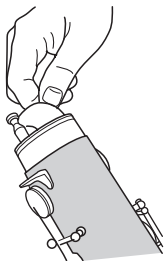


\* このとき、C#のトーンホールを真下に向けると、水分がたまりやすいためご注意ください。

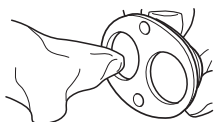
2. U字管を覆っているプロテクターキャップを取り外します。



- 3.** 取り付けネジを外して、U字管をゆっくり抜きます。

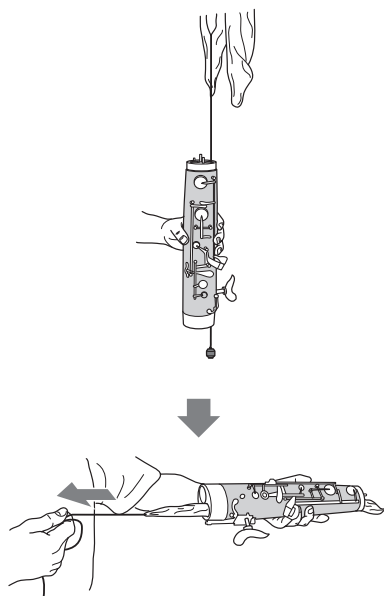
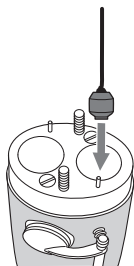


- 4.** U字管の内側に付いた水分を拭き取ります。

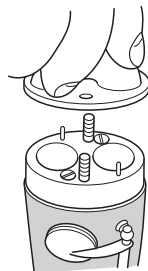


- 5.** クリーニングスワブのおもりを内面の細い方の管から入れ、反対側に引っ張り水分を取り除きます。

ダブルジョイントの太い方の管に水分が付いた場合は、必ずU字管を外し管内の水分を充分に取り除いてください。また、そのとき、A♭トーンホールの内面に水分が残っているときは、必ず拭き取ってください。



- 6.** U字管を組み込むときは、管の向きと孔の位置をよく確認してください。2本のネジも均等な強さで締めてください。



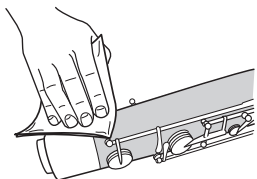
# 楽器のお手入れ

## バスジョイント、 ベルジョイントのお手入れ

2ヶ月に1回ぐらいは、クリーニングスワブ(ダブルジョイント用)を通して、管内の汚れを取り除いてください。

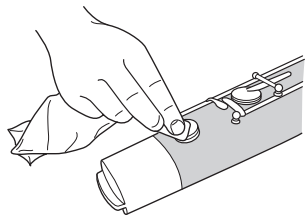
## ■ 楽器表面のお手入れ

月に1~2回は、ポリシングクロスで管体表面を拭いてください。

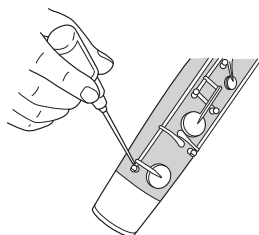


## キイおよびタンポのお手入れ

1. キイの表面は、ポリシングクロスまたは、シルバークロスで拭いてください。

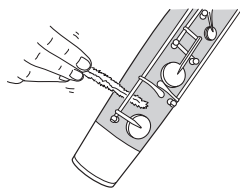


2. 月に1回は、キイとキイポストの間に、キイオイルを注してください。

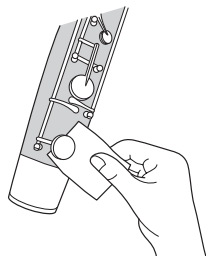


\* 余分なオイルは拭き取ってください。

3. キイと管体間のゴミやホコリは、トーンホールクリーナーで取り除いてください。

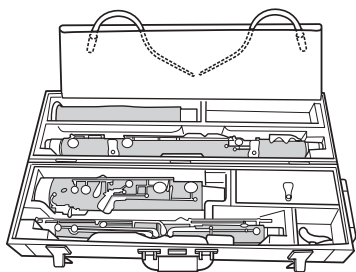


4. タンポの汚れや水分は、クリーニングペーパーで取り除いてください。



## ■ 保管上の注意

- ケースの中に、キイや管体を圧迫するようなものは入れないでください。
- 楽器やケースに強い力を加えないでください。
- 演奏しないときは、常にケースに収めてください。
- ストーブなどの暖房器具で温めたり、側に近づけたりしないでください。



# 故障かな？と思ったら

## 音抜け、音程が悪くなった。

- タンポ部分が変形し、息漏れしている場合は、お買い上げ店またはご相談センターに修理を依頼してください。
  - 普段から、キイに強い力を加えないよう注意しましょう。また、ケースにしまうとき、楽器の上に物を乗せないようにしましょう。
- 管体にヒビが入っている場合は、お買い上げ店またはご相談センターに修理を依頼してください。
  - ヒビ割れは急激な温度や湿度の変化により起こります。冷風や熱風を直接当てないように注意してください。

## キイの動きが鈍い。キイが動かない。

- バネが外れている場合は、バネを掛ければ直ります。
  - バネを曲げないよう慎重に掛けてください。楽器のお手入れの際、クロスがバネにかかり外れることがありますので、注意しましょう。
- キイが変形している場合は、お買い上げ店またはご相談センターに修理を依頼してください。
  - 楽器を落としたり、ケース内の楽器の上に物を乗せたままフタを閉めるなど、楽器に強い衝撃を与えないでください。また、演奏が終わったらケースに収納しましょう。その際、ケース内にはキイを圧迫するものを入れないこと。組み立てる際もキイを圧迫しないように注意しましょう。

## ジョイント部分がきつい / ゆるい。

- ジョイントがきつくなったりゆるくなったりした場合は、お買い上げ店またはご相談センターへ修理を依頼してください。
  - ジョイント部は湿度や気温などにより、収縮 / 膨張することがあり、夏はきつく、冬はゆるくなるがあります。
  - 演奏が終わったあとは、そのまま放置せず必ずケースに収納しましょう。

## キイを動かすと雑音ができる。

- キイ部分のオイル切れや、ネジがゆるんでいる場合は、キイオイルをさしたり、ネジを締め直します。
  - 摩擦を防ぐには1カ月に1回程度(1～2滴 / 1ヶ所)、キイオイルをつけましょう。また、木管楽器では小さなネジが紛失しやすいので、ネジのゆるみやキイをいつも点検しておきましょう。
- コルク、フェルトが摩耗したり取れている。楽器に強い衝撃が加わり、キイと管体またはキイどうしが接触している。といった場合は、お買い上げ店またはご相談センターに修理を依頼してください。
  - コルクやフェルトは、取れないよう注意して扱い、演奏が終わったらケースに収納しましょう。また、楽器に強い衝撃を与えないよう、演奏の合間や休憩の時には注意しましょう。

# お手入れ用品とアクセサリー

楽器を良い状態に保つために、ヤマハでは、いろいろなアクセサリーを取り揃えております。ここではファゴットに関するものをご紹介します。ぜひ、ご活用ください。

品名	特徴・使用方法
ポリシングクロス	楽器表面の艶出しに適した柔らかくきめ細かいクロスです。キイ部にはポリッシュとともに使用すると効果的です。
シルバークロス	銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取り、きめ細かな美しい光沢をもたらします。
クリーニングスワブ	管体内を通して内面の水分や汚れを取り除きます。ワンピースタイプとセパレートタイプからお選びいただけます。
ボーカルスワブ	ボーカルの曲管の内面の水分を取り除く専用スワブです。
ボーカルブラシ	自在に曲がるので、ボーカル内面のクリーニングに最適です。
トーンホールクリーナー	トーンホールやキイの細部のクリーニングに最適です。そのままでも、折り曲げて使えます。
クリーニングペーパー	タンポとトーンホールの間にはさみ、軽く押さえることにより水分、油分を吸収します。
パウダーペーパー	タンポのベタつきが気になるときに使用します。使用前はクリーニングペーパーで水分を取り除いてください。
キイオイル	キイポストとキイの間やカギ管内面に使い、サビや摩耗を軽減します。ファゴットにはHを推奨します。
コルクグリス	ジョイントのコルク部の動きをスムーズにし、管の気密を保ちます。コルク部の汚れをよく拭き取り、ジョイントコルクにコルクグリスを薄く塗り、差し込んでグリスをなじませてください。
シルバーポリッシュ	銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や、汚れを取るときに使います。ポリシングクロスにしみ込ませて磨きます。

お手入れ用品は、各々の用途目的に添って正しくお使いください。



**ヤマハ株式会社**

〒430-8650 静岡県浜松中央区中沢町 10-1

© 2013 Yamaha Corporation  
Published 09/2023 发行 IPCC-B0

VGU3250